

## 第18回定時株主総会 質疑応答（2024年12月2日公開）

Q

株主総会は自社ビルで開催した方が経費が安くすみ、また株主の企業理解につながり良いと思う。

A

貴重なご提案をいただき、誠にありがとうございます。自社ビルでの開催は、会場費の削減や株主様の企業理解促進の観点から、大変有益なご意見と受け止めております。

今回の会場につきましては、新大阪駅近くのアクセスの良い立地を重視し、株主様にご参加いただきやすい環境を最優先に選定いたしました。現状では、すべての株主様が快適にご参加いただけることを第一に考えておりますが、今後の選択肢の一つとして、自社ビルでの開催も前向きに検討してまいります。

Q

現在借りている金融機関よりも、他の金融機関の方が金利が安いのではないかと。その金融機関から借りないといけない理由などあるのか。

A

当社は、複数の金融機関との契約を通じて、金利や融資条件の最適化に努めております。現時点では、当社にとって最も有利な条件を提供いただける金融機関から融資を受けております。

平均利率につきましては、当社が開示しております有価証券報告書に記載されておりますので、そちらをご参照いただければ幸いです。引き続き、より良い条件での資金調達を目指し、柔軟に対応してまいります。

Q

建物の減価償却費が計上されていないように思うが、実際はどうか。

A

当社は、会計基準に則り、適切な減価償却を確実に実施しております。会計監査人による監査も受けており、適正に計上されていることを確認いただいております。財務諸表にも反映されておりますので、詳細は有価証券報告書にてご確認いただけます。今後も引き続き、透明性を重視して対応してまいります。

Q

EVO FUNDの新株予約権により調達した資金はいくらか。

A

EVO FUND様の新株予約権については、現時点で権利行使が行われていないため、調達した資金はございません。新株予約権が行使された際には、速やかに適切な開示を行い、株主の皆様にご報告いたします。

Q

従業員持株会への社員加入率が81%である一方、株式を保有していない取締役がいるのは、何か理由があるのか。

A

取締役の株式保有について特段の理由はございません。今後、取締役の株式保有など経営陣と株主様の利益が一致する体制づくりを検討してまいります。

Q

配当政策など、株主還元に対する考え方を教えてほしい。

---

A

当社は、まずは事業の黒字化と成長を最優先に考えております。これを達成した後、株主様への還元をより充実させていく方針です。今後も企業価値の向上を目指しつつ、株主様への安定的な還元を実現できるよう努めてまいります。

Q

営業方法の転換とあるが、これまでの方法からどのように転換していくのか教えてほしい。

---

A

営業方法の見直しに際しては、既存製品と新規製品の販売戦略をそれぞれの特성에応じて分け、専門性を高めるために組織を分化いたしました。既存製品につきましては、直接販売を強化することで、より効率的な営業活動を目指しております。一方で、システムインテグレーションや新規製品については、広範な市場へのアプローチが効果的と判断し、SIerや代理店との連携を深めております。今後も、各分野に適した戦略を推進し、さらなる成長につなげてまいります。